

第3回 メタン発酵バイオガス発電リーダー育成研修 ご案内(開催概要)

一般社団法人日本有機資源協会 

一般社団法人日本有機資源協会は、バイオマス発電についてトータルに理解した上で、現場で運転維持費を削減し、設備利用率を向上させるとともに、定められた制度や周辺条件のもとで最適な施設運転をリーダーとして遂行できる人材を育成することを目的として、2021年度に経済産業省資源エネルギー庁より「令和3年度新エネルギー等の導入促進のための広報等事業(再エネ導入・運転人材育成支援事業(メタン発酵バイオガス発電における人材育成調査))」事業を受諾し、人材育成のテキストを作成しました。そのテキストをベースとしたカリキュラムを検討し、2022年度より「メタン発酵バイオガス発電リーダー育成研修」を開講しました。

本研修修了者につきましては、メタン発酵バイオガス発電リーダーとして必要な知識を習得したことを認定し、研修修了証を交付いたします。

開催内容や申込用紙など、詳しくは、日本有機資源協会のホームページ(<https://www.jora.jp/training/>)をご参照頂くか、右に記載の問合せ先までご連絡ください。

受講者のお声

受講目的は？

- 現在および今後のメタン発酵に関する事業の参考とするため
- JORAのメタン発酵技術アドバイザー養成研修より、さらに発展的な内容を学ぶため

受講後のご感想

- バイオガスの専門家の方や、メタン発酵プラントを運営している現場の声を聞くことができ、大変勉強になった。
- 実際のトラブル事例などを多く聞くことができ、今後の指針の参考になった。
- 講義内容は、インターネット等では得られない情報であった。具体的な事例の紹介が多く、内容がとても分かりやすかった。
- 事例を踏まえた講義で、とても参考になり、地域レジリエンスについても理解が深まった。
- 自分のプラントばかり見ていると視野が狭くなる。原料種別での違い等、学びが深まった。
- 講義内容が多面的かつ包括的で、具体的事例も多かった。液肥についての知識を得ることができ、今後に活かしていきたい。
- 講師の方々だけでなく、受講生とも交流ができ情報交換ができた。
- 講義中の質疑のやり取り、ディスカッション等、他の受講生とも積極的に交流ができ、有意義であった。
- メタン発酵発電施設に関して、上流から下流まで全て学ぶことができる良い機会だった。

開催概要

1. 実施日 2024年9月5日(木)～6日(金)
2. 実施方法 オンライン(Zoom)研修
3. 研修日程 裏面をご参照ください。
4. 申込期限 2024年8月23日(金)
5. 申込方法 別添の様式6に必要事項を記入の上、事務局までメール等で送付してください。
6. 受講料 ① 一般社団法人日本有機資源協会会員
60,500円(税込み)／1名
② 一般(非会員)
77,000円(税込み)／1名

※ 受講料の対象となる費用は、

聴講料、資料代(消費税込)となります。

7. 問合せ先 一般社団法人日本有機資源協会 事務局
(十川・村越)

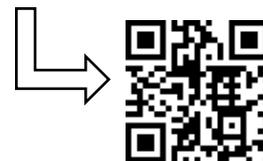
〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16

馬事畜産会館 301号室

TEL: 03-3297-5618 / FAX: 03-3297-5619

E-mail: kensyu@jora.jp

人材育成事業のページはこちらから



第3回 メタン発酵バイオガス発電リーダー育成研修 日程

開催日 : 2024年9月5日(木)～6日(金)

開催方法: オンライン(Zoom)

開催日	時間	講習内容	講師
1日目 9/5 (木)	8:50～	受付	
	9:00～9:10	オリエンテーション	事務局
	9:10～9:20	開講にあたっての挨拶	経済産業省 資源エネルギー庁
	9:30～11:00	メタン発酵バイオガス発電システムの全体像	石井 一英 (北海道大学工学研究院 教授)
	11:00～11:10	(休憩)	
	11:10～12:00	メタン発酵関連法規等	中村 彩乃 (みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 サステナビリティコンサルティング第2部 持続型社会チーム)
	12:00～13:00	(昼食休憩)	
	13:00～14:20	政策動向・温室効果ガス削減効果の定量化・ 持続可能性確保	芋生 憲司 (前 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授・(一社)日本有機資源協会 副会長)
	14:20～14:30	(休憩)	
	14:30～15:30	事例紹介ートラブル事例から学ぶ対応策①	盛下 学 (バイオエナジー株式会社 代表取締役社長)
	15:30～15:40	(休憩)	
	15:40～16:40	混合利用(下水汚泥・食品廃棄物)	愛知県豊橋市上下水道局 下水道施設課
17:00～18:00	交流会(ネットワーキング)	事務局	
2日目 9/6 (金)	8:50～9:50	事例紹介ートラブル事例から学ぶ対応策②	城石 賢一 (北海道鹿追町 農業振興課 課長)
	9:50～10:00	(休憩)	
	10:00～11:00	水素・バイオメタン利用	阿保 洋一 (エア・ウォーター株式会社)
	11:00～11:10	(休憩)	
	11:10～12:10	運転管理上の課題と対策	森田 真由美 (月島 JFE アクアソリューション株式会社 営業本部 営業企画部 営業企画グループ)
	12:10～13:10	(昼食休憩)	
	13:10～14:10	バイオ液肥の利用	中村 真人((国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 上級研究員)
	14:10～14:20	(休憩)	
	14:20～15:30	ブラックアウト対応と地域レジリエンス	猪飼 幸輝 (株式会社バイオクラシックス半田 取締役事業本部長)
	15:30～15:40	(休憩)	
	15:40～17:00	ディスカッション	事務局
	17:00～17:30	研修修了考査	事務局
		閉講にあたっての挨拶	一般社団法人日本有機資源協会

※ 講義内容、講師、講習時間等は、都合により変更する場合があります。